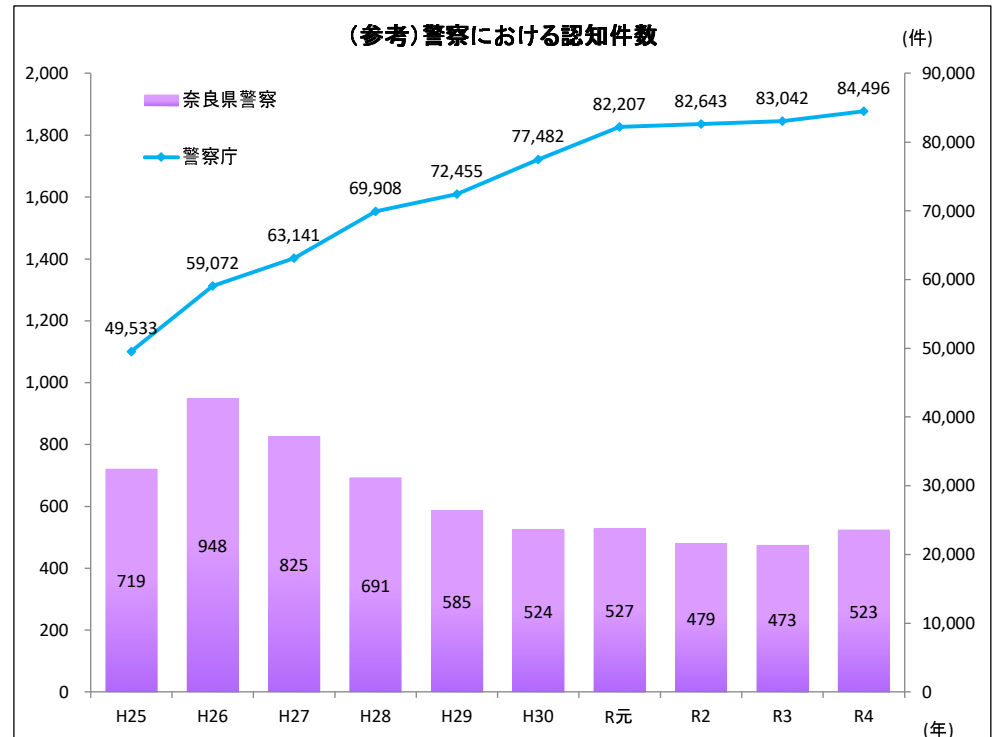
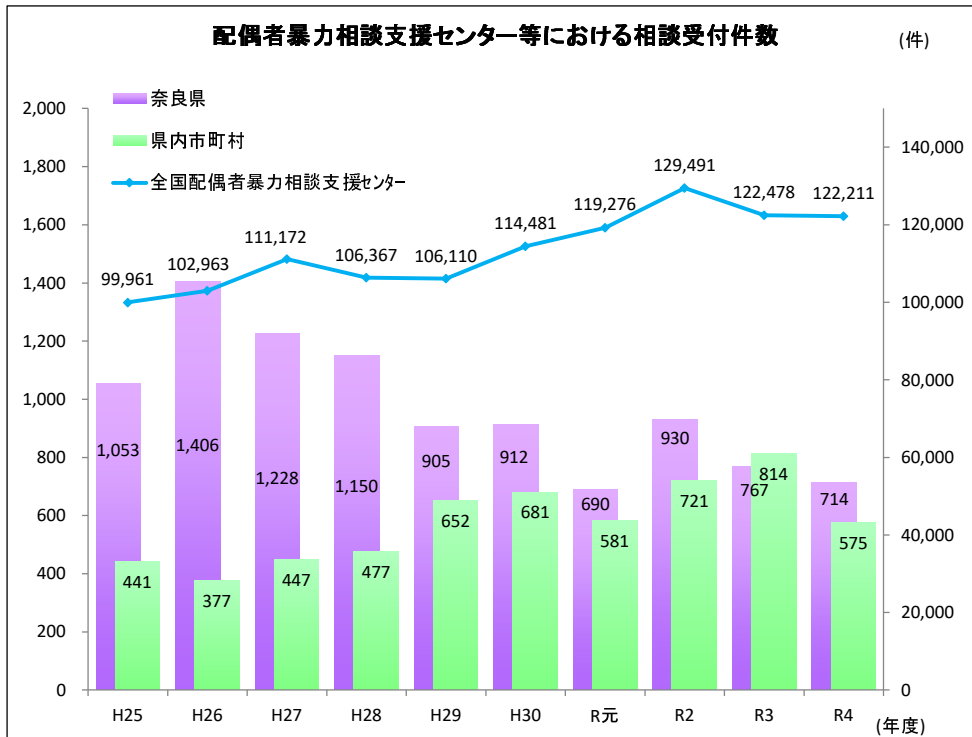


令和4年度奈良県のDV相談の状況

資料1



・奈良県における令和4年度の相談受付件数は、714件であり、前年度に比べ、53件（6.9%）減少した。

※奈良県数値は、

- ・中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、高田こども家庭相談センター、女性センターの合計。
- ・配偶者暴力防止法上の「配偶者等からの暴力」だけでなく、同様に被害者支援を必要とする「親・子どもなど被害者と親しい関係にある者からの暴力」も含む。

※全国の数値は、

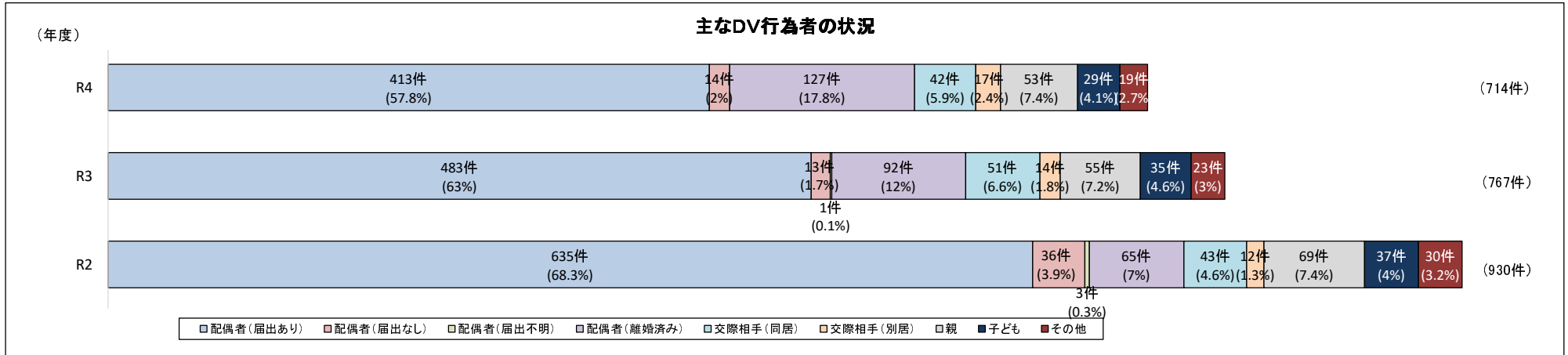
- ・全国の配偶者暴力相談支援センターにおける法律上の「配偶者等からの暴力」相談件数。
 - ・R2年度より開始されたSNS等を活用した「DV相談プラス」での相談件数（※）を除く。
- （※）（参考）R2：52,697件、R3：54,489件、R4：47,971件

参考添付：警察における認知件数

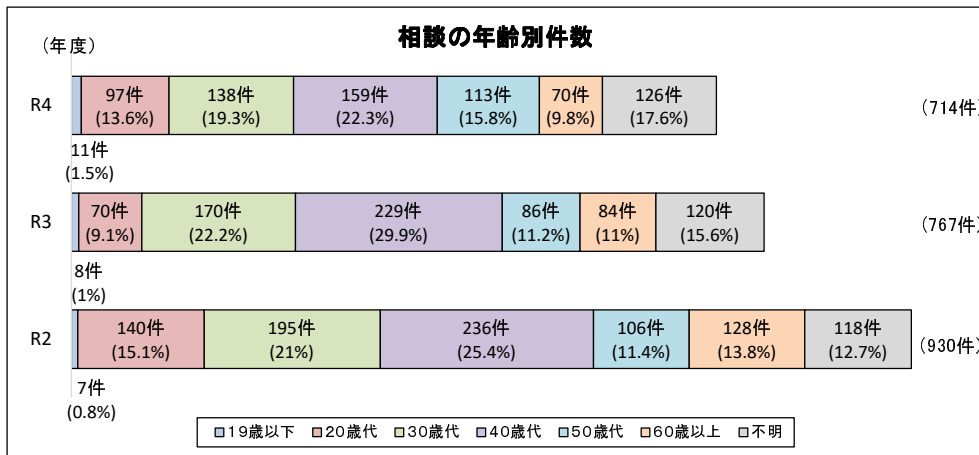
- ・奈良県警察における令和4年の認知件数は、523件であり、前年に比べ、50件（10.6%）増加した。
- ・警察庁（全国警察認知件数の合計）における令和4年の認知件数は、84,496件であり、前年に比べ、1,454件（1.8%）増加した。

※警察における認知件数は、当該年の1月～12月における認知件数の合計。

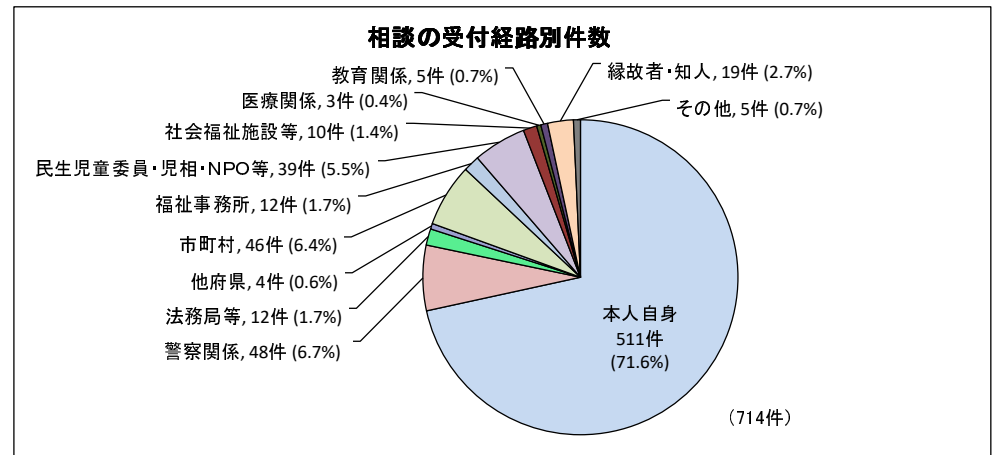
○奈良県が受付したDV相談件数の状況



- 奈良県における令和4年度の相談の主なDV行為者は、「配偶者（婚姻届出あり）」が413件（57.8%）で最も多く、次いで「配偶者（離婚済み）」が127件（17.8%）であり、次いで「親」が53件（7.4%）。
- 前年度と比較すると、「配偶者（婚姻届出あり）」が70件減少し、「配偶者（離婚済み）」が35件増加した。



- 奈良県における令和4年度の相談の年齢別件数は「40歳代」が159件（22.3%）で最も多く、次いで「30歳代」が138件（19.3%）と合計で約4割を占めるが、すべての年代からの相談がある。
- 前年度と比較すると、「20歳代」「50歳代」がそれぞれ27件増加、「40歳代」が70件減少した。



- 奈良県における令和4年度の相談者の受付経路は「本人自身」が511件（71.6%）で最も多く、次いで「警察関係」が48件（6.7%）。